



北海道旭川聾学校だより 4月号

希望の鐘

2026・4・24 発行 文責：門眞 義弘



「新年度を迎えて」

令和8年度は、幼稚部2名、小学部1名、中学部3名の新入生を迎え、幼児児童生徒計22名でのスタートとなりました。

本校では、次のように学校教育目標と学校経営方針を設定し、聴覚障がい教育に取り組んでまいります。

- 学校教育目標
一人ひとりが個性を生かし、心身ともに健康で心豊かな子ども
- 学校経営方針
【教育の方針】
 - ・「実物・実体験・本物・優れたもの」に触れさせ、学ぶ喜びを実感できる授業改善に努めるとともに、自分の力で考え、判断し、表現できる子どもを育成する。【経営の方針】
 - ・学校経営方針への意識を高くもち、「チーム旭川聾学校」として、全教職員が組織的に業務を推進することで学校教育目標を達成する。
- 令和8年度の重点
 - ・「実物・実体験・本物・優れたもの」に触れさせる教育活動を効果的に推進する。
 - ・旭川聾学校サポーターズを活用した地域学校協働活動で効果的な教育活動を推進する。
 - ・教職員自らの指導技術と専門性の向上を図る研修を充実する。
 - ・ICTを活用した授業実践を推進し、教育的効果を高める。
 - ・安全・安心な教育環境を整え、教育活動を推進する。
 - ・教職員自らが効率的かつ効果的な業務の推進に努め、健康で質の高い働き方を実現する。

今年度は昨年度の早い段階から学校教育目標達成のための学校経営方針の見直しに着手しました。校長が方針を教職員に示し、アンケートをとって改善案や賛同を募りました。その結果、100%の教職員の賛同を得て、意見を取り入れた上で、学校経営方針とランドデザインができました。学校運営協議会で承認していただいた上で、4月を迎えています。更に育成を目指す資質能力の3つ（「自己理解力」「コミュニケーション能力」「情報活用能力」）は変えずに、育成を目指す資質能力を何のために身に付けさせたいかを明らかにして取り組むことで、より目的意識をもてるようになりました。

今年度も引き続き、子どもたちの一人一台端末を効果的に活用し、より可能性を広げる教育や個別最適な学びの推進に取り組めます。そして、本校に在籍する子どもたちにとって、見通しをもち、分かる喜びが実感できる授業づくりを推進してまいります。

また、本校の教育活動を支えていただける「旭川聾学校サポーターズ」をより一層推進するとともに、創立104年目の学校として、歴史と伝統を積み重ねてまいります。

今年度も保護者の皆様をはじめ、地域の小・中学校等や関係機関と一層の連携を図りながら教育活動を推進してまいりますので、皆様の御理解と御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

令和8年4月1日

北海道旭川聾学校長 門眞 義弘

転入者挨拶



「よろしくお願いします」

教諭 須藤 南帆 (すどう みなほ)

北海道札幌聾学校から赴任してきました、須藤南帆と申します。小学部に所属します。旭川聾学校のお子さんたちと一緒に勉強したりお話ししたりすることが楽しみです。一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



「よろしくお願いします」

教諭 古川 円 (ふるかわ まどか)

5年間、釧路鶴野支援学校の聴覚障がい教育部門で勤務していましたが、御縁があって旭川聾学校で勤務させていただくことになりました。子どもたちとたくさん学んだり、遊んだりするのがとても楽しみです。

子どもたちと同じ目線で楽しく頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



「よろしくお願いします」

寄宿舎指導員 佐藤 三愛 (さとう みあ)

室蘭聾学校から赴任してきました、佐藤三愛と申します。子どもの頃、乳幼児相談室や幼稚部の時期に本校に通っていました。御縁があって母校で勤務することになり、嬉しいです。子供たちとのかかわりを通して、子どもの気持ちに寄り添った支援をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



今年度より、産休・育休から復帰した職員が2名着任しています。

これまでの経験を生かしながら、子どもたちの成長を支えてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



教諭 斉藤 華香
(さいとう はるか)



栄養教諭 岩淵 綾美
(いわぶち あやみ)

今年度も、学校便り「希望の鐘」は年3回の発行を予定しております。
これまでと同様に、子どもたちの学びや日々の活動を、保護者の皆様へお知らせしていきます。
また、学校ウェブページとnoteでも日々の活動の様子をお伝えしていきますので、こちらもぜひ御覧下さい。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

